夕刊 磐城新聞 三月十八日發行
（日曜祭日翌日休刊）
振替東京一〇八五九六五番

現代童謠の趨向

横山青我

一

愛に白秋、八十乃至は雨情を先驅者として光輝ある第一歩を踏み出した現行の童謠が、その形態を基礎づけ、その內容を充實させる爲には、その間十有餘年の歲月を閱してゐる。而も現時に至つてその趨向をうかがふに、これが氣運に促されて詩人乃至詩人と稱する人達にして童謠創作に筆を染める者の續出した結果は、それが作品に頭初のごとき藝術的香氣を喪ひ。甚だしきはジャーナリストの童使に甘んじて、單に苟らんがなの態度に始終せむとする傾向が濃厚である。これでは折角の童謠運動も初志に背いて、抑つて益々卑俗に陷入らんとする危險に臨んでゐると斷ずべきである

凡そ新興の童謠が近來の學校唱歌に取つて代つた一つの理由は、學校唱歌なるものの無氣力さに慊らぬものがあつた爲で、卽ち不自然にして寓意的な在來の唱歌が、歌詞は無論のこと、音曲の方面から見るも變化に乏しく、沈滯そのものの如き觀を呈して、新時代の兒童の口吟むものとしては時代錯誤の存在であつたからに他ならぬ。それが爲に新興の童謠が目標とした一大眼目は、兒童の永遠に滅びない情緒を持つてゐて、藝術的にも音樂的にもすぐれたものであるといふ所にあつた。之れを換言すれば優しい兒童の心に泌々とした懷しみなり、興味なりを起さしめ、それがやがて人生に對する愛の手引ともなり、同時に又成人になつても、之れを誦するとき興味を感じ、曳いては少年時の郷を偲んで思はず淚を催さしめ、愛情の念に恍惚たらしめる所に、我々の作る目的があり意義があるのである

おぼろ月夜

豊香

男らしく
笑みたまふ口のべに
おぼろ夕月
ほのかに光る

ふるさと

好間 明智金鈴子

ふるさとの目覺めは春の海鳴りぬ
ふるさとは春田にちどりとびかへる
ふるさとは潮風いだく帆鳴れり
ふるさとは海より春の月のぼる
ふるさとは吾に菜飯をけふ炊かず

立ちつくす
二人のへだたりは
ほのほの川よ
なつかしき
君とあふ夜は
おぼろ月夜に
紅の花

梅花

珠雲 小野務亭

早曉來過道士莊
寒猶料峭透衣裳
一枝冰骨持高節
淸苦莞然笑送香

3月19日

△都を近江の大津宮に遷し給ふ（天智天皇六）△京都御所守護の御親兵設置さる（文久三）△上野の山市民に開放さる（明治二）△此日誕生の人—後藤象二郎（天保九）△ドイツの發明家ダイムラー（一、八三四）△名歌劇『ファウスト』初めてパリで上演（一、八五九）

『野麥』原稿募集 四月下旬創刊

□詩 二篇以內
□短歌 十首以內
□俳句 十句以內
□〆切は來る三月末日とす
□必ず原稿用紙を用ゆること
□送り先は 平町四丁目マルトモ書店內 『野麥』同人宛
□『野麥』原稿と表記すること

南國だより

在長崎 佐々木一生

拜啓、昨日那覇市の知友から來た手紙の中に、沖繩はもうすつかり夏になつて早くも浴衣がけで一本一錢のアイス、キャンデーをしやぶつたり、團扇をバタ〜〜使ふもの等が殖えてきて、街頭は既に初夏氣分を描いてゐるといふ、實に羨望に堪へない朗かなニュースではあるまいかと存候。

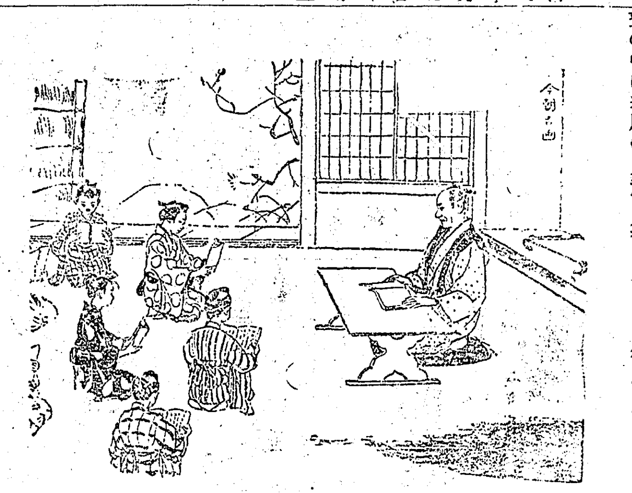
當長崎市の如きも所謂對島暖流の關係で、梅は既に一月中に散つて元日櫻も亦た二月二十日頃には落花してしまつて、今は桃と山吹の花が滿開で黃紅白色とり〜〜の美觀を呈してゐる。段々畑の菜種や豌豆の花も盛んに咲き競ふて、甘ひやらな香りを放つて蜂や蝶を呼んで戲れてゐる、街の電車通りの枝垂れ柳は淺綠の芽が梢を隱す程に伸ひて、糸のやうな春雨に蚯蚓の目をさしたシャンが電車を待合はしてゐるのも何んとなく陽春氣分を唆られるやう[illegible]、又屋根[illegible]の下に子雀がチュツ〜〜と親鳥の餌を運んで來るのを待ちかねたやうに啼いてゐる、郊外の日當りのいゝ小川の水も溫んで蛙の睦言がコト〜〜と聞えて陽春風景が展開されて來た、そして暑い〜〜といふやうになるのも餘まり遠いことではあるまいと期待せられ候。

講談 妖刀流轉（えうとうるてん）

(40) 邑井貞吉演 佐々木今朝吉畫

仁者の隱家（十二）

西條兼之進は駿河の府中へ參り澤田角右衛門に逢つて實はこれ〜〜と話をしたら、角右衛門も大きに心配をして色々と氣をもみ近在の八幡村に手頃な家があつたから、これを借受けて兼之進を住はせる事になつた。兼之進此處へ隱棲をして、寺の中は近所の兒童を集め



手習素讀の指南、素讀ばかりでない經書の講義も教へる。教育の行渡つて居ない昔のこと、なか〜〜地方の邊鄙な所で充分に讀み書きを習はせる事は難かしい、そこへ思ひがけなく、いゝ先生が來て下すつたと親達は大喜び、先生々々と尊敬して月々代りに米、麥、野菜などを持つて來て呉れる

兼之進も地方人の純撲を喜び熱心に子弟を教へるから誠、評判がいゝ

學問の道は他なし只その誠を求むるのみと申しますが、これが學問の大體の目的、教育の眞髓で御座ります、讀み書き算盤が達者になつて日常の用を辨ずるばかりが學問ではない、誠の道を知つて立派な人格を養成する、これが肝腎だ、それ故教育はど難かしいものはない、下手を間誤つくと算盤ばかり達者でもそれを惡用して飛んでもない邪道へ踏込むやうになる、何の爲めに學問をするのかわからない、學費損の弊害まうけ、殊に近頃はそれが激しいようで御座います

兼之進己れが正しい人格者だから教へ方が違ふ、立派に魂が入つて居ります、口さきばかりではない身を以て先へ行ひの模範を示して見せる、自然と兒童が一日々々に善くなるばかり村內や近郷に困窮な者があると、兼之進自ら出かけて行つて救恤の心配をしてやるといふ風だから有難い先生だと、村の者は道で逢ふと知らぬ人までお辭儀をする位、兼之進先づ悠々とその日を送つて居りましたが主君の事は片時も忘れず何卒御改心なすつて下さればいゝと時節を待つて居ります

すると丁度その翌年の暮押つまつた二十七日、朝から近頃稀な大雪、この中を寺子は雪を厭はずに通つて來る、天氣が惡いからの寒いからのと、そんな事で學問を怠るやうではない、田舍でも云ひ聞かされてゐるか、大雪の中もせつせとやつて來て先生に褒められよといふ心算、子供は實に可愛いものです

『おゝ一同感心々々、よく精が出るの、それでなくては可かん、然し今日の寒さは又別段、この大雪では歸りまでには一層つもる事があらう、親御達も案じて居ようから今日は御褒美に早仕舞と致さう、一時はど手習ひをしたら支度をしてすぐ歸りますように、道をこらぬよう氣をつけて行きなさいよ』

早仕舞ひ聞いて子供は大喜び晝前に皆歸つたが雪は小止みもなく益々降つて參ります

見てゐる中に野も山も降り積む雪の銀世界、邊鄙な田舍でありますから、この大雪に誰も戶外を通るものも御座りません

隣といつても田圃を隔てゝ數町離れてゐる位な野中の一軒家、靜かさを通り越して淋しい位のもの、外は小止みもない大雪、寒氣も一層でありますいつの間にか夜になる。

西條兼之進只一人、圍爐裏へ火をおこしてあたりながら靜かに書見をしてゐると、かすかにサク〜〜雪を踏んで來る足音が聞へた。ハテこの大雪に誰が來たのか知らと暫らく經つてホト〜〜と栗の扉を打叩き

『お賴み申す』

といふ聲も寒さに慄へてゐる樣子

和洋 建具 家具 テーブル 椅子
其他裝飾品一般
御用命は迅速に御努め致します。

御各諸官衙 學校 用達
製作販賣
片寄製作店
平町五丁目四 片寄小彌太 電話四八四番

洋裁生徒募集
一、洋裁科 貳拾名
一、ミシン科 貳拾名
一、刺繡科 拾名
一、隨意科 若干名
入學規則書進呈 ミシン無料貸與
シンガー洋裁女學院 平町田町大通り

中古各種レール鐵管
礦山用機械器具類
製鐵原料問屋
二大製鐵會社特約店
海軍工廠御用達
銅鐵 機械 KS 井尻七三郎商店
出張所 福島縣平町鍛冶町十一 電話五二二番
本店 大阪市南區本堀町三十三番地 電話東五三三四番
支店 呉市藏本通十一丁目一番地 電話二一二〇番
御買上品精々御安く納品致します
御拂下品は精々御高値に買受ます

耳鼻科 咽喉科 專門
大和田醫院
平町南町一六番地 電一七〇番
（入院隨意 病室完備）

耳鼻咽喉科
高柳醫院
平驛前（電三三六）
醫學博士 高柳博明
（入院隨意 自炊ノ便アリ）

生徒募集
文部大臣認可 平陽女學校 平町 電話四四五番
一、本科一年（二ヶ年卒業）五十名
一、技藝科一年（二ヶ年卒業）五十名
一、專攻科（一ヶ年卒業）二十名
一、各科二年（補缺入學）若干名
一、科外生 1洋裁科 若干名 2タイピスト養成科 若干名
一、入學願書提出 三月三十一日迄
一、新學期開始 四月一日ヨリ
一、學入學內書御申込により差上げます

春がコツソリと訪れました。カメラマンの活躍時季は此れからです。
親切 說明
西村屋藥局 カメラ部
在庫豐富 電話參番

白蜜と黑蜜
田毎のみつ豆
電話六三二番

內臟外科一般 外科花柳病科（入院隨意）
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

お醬油は……ヤマフル
味噌 醬油 たひら正宗 鰹節 食料品
釀造屋 山崎合名會社 福島縣平町
電話（營業部一〇番 本店二七番）
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

時代ニ適シタ職業
洋服裁縫
小徒弟募集（十名）
○學歷（尋卒 高卒）
○年令（十六、七歲迄デ）
佐川洋服店營業所（電四一八番）

店員募集
時代的職業
十四、五歲より（尋卒以上） 五名募集
待遇法 一ヶ月三圓以上積立（明細御面談）
定評有る……大塚の靴
在庫品の續く限り値上げせず
絶好の御買ひ時………!
靴と運動具
大塚
平・田町銀座通 電話七十七番

日本水產特約
ヒノマル凍魚
鯛 エビ 白魚 ワカサギ
甘鯛 マナ鰹 帆立貝 ウニ貝燒
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス
平町四丁目 魚問屋 電五二八番

外科一般 內臟外科
レントゲン科 泌尿器科
北川外科
（血液檢查每日）
イツデモ入院デキマス。
平町新川町二七（電四六四）
醫學博士 北川芳夫
技師 小林良次

時代の要求 皆樣の足!!
尼子タクシーへも
豆タクが入りました。
御玄關から玄關へ…迅速簡便
是非御利用を……。
市內…三〇錢 市外…四割引
流線型セダン、大型貸切バス
宮行ー直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします。
平町二丁目
尼子自動車商會
電話六四〇番

夜半から張り込んで三千圓の甘夢に醉ふ

當世大流行の三千圓なラシユ。十圓で三百倍の幸運を抽き當てんとする往務的債券購入熱ざは頃來の低金利時代が生んだ世にも皮肉な傾向として之が入手に就ては全國津々浦々に泣笑多の悲喜劇を演じて居る！

今朝平町の債券賣出し

慾は凄い

今十八日は恰も第十三回、第十四回の割引勸業債券賣り出しとあつて早くから氣つかぬ人に内緒で當日を待ち構へた頭の良い連中は曉天一時の闇を衝いて折柄の寒氣と苦鬪を續け乍ら面屁實に八時間、九時の蓋明け迄凝つと待機の姿勢を崩さなかつた何人かさへあつたとの事である九時一齊に開始された局及び農工、常陽、七十七各銀行支店の賣出しい推定一ヶ所各八十枚約三百二十枚の債券は十數分間にして賣り盡したと云ふラッシュの文字その儘物凄い突進殺到振りの裡に極彩色の射倖闘縮を繰りびろげ、さしも緊張を見せた今回の賣り出しは完了した

來月の値上實施に平局の陣容整ふ

四錢切手廿四萬枚雪崩れ込む

新規の端書や切手類も目下遞信省印刷局で極力製作を急いでゐるが世上に現れるのは結局四月中旬以後になるものとみられ、從つて四月一ぱい位は從來通の端書に五厘切手を貼り往復端書には五厘切手二枚、封緘端書には一錢切手をそれ〴〵新しく貼付して使用せねばならないといふやゝつこしいことになり果して四月一日（但し同日の第一號便までは從來通り）から完全に實施されるか否かは非常な疑問で、これが趣旨徹底につき目下當局では全く頭痛鉢卷の態であるが、仙臺遞信局では十七日取扱へす管內全郵便局所に對し、五厘一錢、二錢の切手をふんだんに用意し、平局へは一錢一萬枚、四錢廿四萬枚の切手が入り需要殺到にまごつかぬ陣容が整へられてゐる一遞信局では更に近く全郵便局並に切手販賣人に對し詳細な改正料金說明書を配るほか、郵便ポストには注意ビラを貼つて一般公衆への趣旨浸潤を期す段取りである

縣聯合青年團大會

花滿開の來月十七日 平町で開催決定

本縣聯合青年團大會は昨十七日午前十時から福島青年會館に開かれた代議員會の結果來月十七日平町（場所未定）で開く事に決定した

尙同代議員會では本縣青年のオリンピアードたる本團体育大會の選手出場制度の改正が論議され本年度からは從來の各郡單位の選拔法を廢し縣下を五方部に分け方部別に豫選會を開き選拔出場せしむる事に決定、具体的方法については來月中あらためて團長會議を開いて正式決定する事になつた

願書續々集る

町內三中等學校中磐城高女は去る十五日締切つたが殘る磐中、平商の今十八日正午現在の願書受付數左の如

締切りは明後廿日

	受付	定員
磐中	三五七	二五〇
平商	一六〇	一一〇

けふ彼岸入り

花の四月は近いぞ

けふ彼岸入り。きのふから吹きまくつてゐた季節ばづれの風はどうやら納まつたが、ゆうべの寒氣でけさ方は相當部厚な氷、朝の陽にキラ〳〵光つて——折角芽生えた櫻の蕾も『アッタリ前でせう……』とちゞこまつてしまつた、然し寒さも彼岸迄これからは日に〳〵『暖』への行進曲が朗かに奏でられるわけだ、花の四月は近いぞ

當局の努力に對へて民衆の自覺も向上した

所得營收兩稅の申告に現れた喜ぶべき傾向

第三種所得稅及び營業收益稅に關しては折角の控除規定に洩れぬ樣稅務當局に於て極力法定期間內の申告を慫慂し來つた結果平稅務署に於ける去る十五日の期間內申告者は所得稅千二百二十四名、營收稅五百七十八名で前年度に比し前者百三十名、後者三十一名の何れも增加を示し、之に關する當局の努力と一般民衆の自覺とを明瞭に物語つて居る斯くして期間中の申告による控除の爲、危い處で免稅點（所得稅千二百圓、營收稅四百圓）に下される向が相當數に上り彼此郡下に於ける實際の該納稅義務者は昨十一年度の實積に徵し、所得稅千三百五十九名、營業收益稅千二百七十四名となつて居る

運轉繼續不發許

磐崎村下湯長谷長岡義誠は今回縣に自動車運轉免許繼續方を願ひ出たが實地試驗の結果不合格となつたので十七日伊藤知事から不發許の旨平署に通知あつた

物々しい警戒裡に大平町政を批判

昨夜聚樂館の演說會況

平町一部有志の希望によると銘打つた平窪村との合併問題を基調とした町政批判演說會は昨十七日午後七時より聚樂館に於て入場の嚴重な身体檢査及び場內の警戒等物々しい裡に開かれ勞頭町政批判の私見を數項加へた丸山春職氏の開辯が兩三回臨監警察官の注意を受けたるに次ぎ、社會大衆黨郡山市會議員田中利勝氏の郡山、桑野合併過程及び市財政の現況等に關する說明あり、最後に大井川幸隆氏が平町の十二年度歲入出豫算を逐條的に縣下先進市制地と對比し町民の負擔等に就て檢討したる上『平窪村と平町との間に作製された協定書及協定書に對する意見』を解剖批判し此間聽衆の間に數回野次の應酬あつたが何れも無事演說を了り最後に聽衆某の動議によつて『南部發展の平町は飯野內鄕等隣接地との合併を先決とすべし』と云ふ意味の決議をなし十時半散會したが該催しが今後問題の動向に對して如何に反映するか頗る興味を以て迎へられてゐる

養蠶實組解散

蠶絲業組合法により郡內左記養蠶實行組合は解散された

鹿島 川前九 好間 錦 勿來四 植田四 川部二 三阪五 澤渡七 豊間二 三阪三 泉六 大野一二 高久五 神谷 飯野二 大浦 平 山田一二 磐崎七 高久四 渡邊六 赤井九 上小川三 下小川 玉川

。。。。青年幹部總會。。。。永戸村合戸小學校で十五日午前十時から青年幹部會を開き來月總會開催に決定

ルン公つけ馬を捲く

只飲み窃盜を自白

ルンペン茨城縣久慈縣小澤村生れ荻谷庄一郎(四〇)は去る十四日夜十時頃平町五丁目飲食店菊屋事菊地ヤイ方で飲食し歸りがけに帳箪笥の抽斗からセル其他衣類數點を失敬してこれを入質費消した外內鄕村蛭子飲食店國井甚之助方で七圓の飲食をしてつけ馬を捲いて逃走、外數件の只飲みがばれて此程平署に檢擧された

學生の―不定期列車運轉

―移動輻湊緩和の爲

明後二十日から實施

最近ぐんと暖めいた陽氣と共に仙臺鐵道局では東京―仙臺間一般旅行客並に學生の移動輻湊緩和のため左の如く上野―仙臺間（常磐線廻り）に上、下各一本の不定期列車を運轉する

△上り二〇六列車 三月二十日より四月十八日まで仙臺驛發午後一〇時三七分平着午前二時一五分、同發二時二〇分、上野驛着午前六時一二分

△下り二〇五列車 三月二十一日より四月十九日まで、上野驛發午後一〇時三五分、平着午前二時四四分、同發二時五〇分、仙臺驛着午前六時〇七分

なほ同列車は本線急行と同じく速度のため利用者には大福音である

女性就職戰線の新傾向

看護婦試驗應募殺到

平署へ早くも百餘名

本縣今年第一回の看護婦試驗は來月十四日（實地十五日）產婆は十三日（實地二十七日より）何れも福島市公會堂で執行されるので平署でも目下受驗者の願書を受付けてゐるが今十八日現在ではや百名を突破した未だ才槌小路石城產看校關係のものが出てゐないのでこれらを合すれば今月末の締切り迄には百五六十名には上るだらうと見られてゐる、卒業期の關係もあるがこんなに多數に上つたのは今回が初めてゞ就職戰線の新傾向を物語つてゐる

。。。。農事傳習終了。。。。神谷農試分場では去る十三日同場で農事傳習生七十五名に對する修得狀授與式擧行

御眞影奉遷

永戸村永井小學校の校庭擴張による奉安庫移轉で御眞影は去る十一日合戸小學校へ奉遷する筈であつたが都合で十五日無事奉遷

南洋開發の使命を帶びて

興發會社の農耕從事者八名

＝愈よけふ鹿島立ち＝

出稼者の獎勵にカこぶを入れてゐる平職業紹介所の斡旋により今度は南洋へ八名雄飛した、即ち同所が過般來募集してゐた南洋興發株式會社の農夫作業夫の希望者は左記八名此程詮衡の結果何れも合格愈よ今十七日午前十時前途に輝しい希望を抱いて橫濱を出帆した、これらは南洋サイパン、テニアン、ロタ及ポナペ島で農耕に從事するものであるが今回の移住者はその四割が本縣人で占められ南洋には『福島村』が建つてゐる程である

平町山田廣平(三五)同山田降平(三)同佐々木善太郎(三九)同市毛なみ(三六)同佐藤昌、(一九)同上田憲(三四)茨城縣小島安明(三五)神谷村中根四郎(三)

講演會と紙芝居

―石城町村長支會の選擧肅正對策決る

江名町を皮切りとした町村會議員の改選期が愈よ切迫したので郡下各町村では早くも部落常會等でこれが肅正運動の對策を練つて居るが昨十七日平町で開かれた石城町村長支會總會でもこれについて種々協議した結果今年は特に支會總會を開いて各町村步調を一にして趣旨の強調に努める事となり大体次のやうな實施事項を擧げた

一、部落豫選會其他選擧取締上の方針を聽取するため警察官の派遣を請ふこと

一、講演會は縣方面より講師の派遣を求め選擧界の實情に即したもの、或は選擧民の核心に觸れる座談會を催すこと

一、紙芝居、レコード、映畫、ポスターで趣旨の徹底を圖ること

花の序曲 忠魂祭

―今年は十三日―

石城町村長支會總會は昨十七日午前十時から平町會議事堂に開き例年四月十日行はれて來た忠魂祭を今年は都合で十三日に延期しこれが豫算九百七十五圓を決定の數件を附議した

勤續吏員表彰

晴の十五氏決る

石城町村長支會では例年の如く永年勤續吏員を表彰すべく該當者の調査を進めてゐたが此程左記十五氏に決定、近く開かれる總會で銀盃一個を添ね表彰式を擧行する

四倉町助役長谷川林平（一六年）飯野村收入役永山菊治（一三）湯本町收入役鈴木信顯（一四）田人組合村書記村田屯（一四）上遠野村書記駒木根孝之（一三）平町書記鈴木允（一五）高久村書記藥谷册（一四）小名濱町書記齊藤升一（一五）同長瀨國三郎（一三）同村上保一郞（一三）三阪組合村書記佐々間利三郎（一五）草野村書記大平芳孝（一四）四倉町書記片寄富次（一四）大野村書記荻貞造（一四）下小川組合村草野孝七（一四）

玉川村の鄕倉に賊

籾五俵を盜み出す

玉川村岡小名鄕倉に十六日夜十時頃錠を破つて賊侵入貯藏籾五俵を盜み出したものあり屆出によつて平署で犯人嚴探中

これによつて當局では各地鄕倉に對して監視人を置くこと、錠の嚴重方を注意する事となつた

天氣豫報

（小名濱測候所觀測）

今晚は北西の風晴

明日は北の風晴

中等教科書 國定教科書 豫習各種辭書 各種全科そろい

小學生ランドセル カバン・手提類 和洋帳簿各種

特賣 パイロット萬年筆 景品付ネーム入 御入學、御卒業記念アルバム

（友）マルトモ 柴田書店 平町四丁目 電話 一二四番 一三三四番

職員並ニ礦員募集

一、斜坑開鑿係 二名 四拾圓乃至七拾圓
一、採鑛係 二名 四拾圓乃至七拾圓
一、技師 一名 百圓乃至百五拾圓
一、機械係 二名 四拾圓乃至七拾圓
一、測量係 二名 四拾圓乃至六拾圓
一、事務員 三名 四拾圓乃至七拾圓
一、職工、大工、軌道夫、支柱夫、採炭夫、坑外運搬夫 五〇名 九〇錢乃至二五〇錢

右事業擴張ノタメ至急募集候ニ付申シ込マレタシ

石城郡赤井村小川鄉 福島炭礦

十九日（小名濱測候所發表）

滿潮 前七、一〇 後一一、三〇　干潮 前一、一〇 後三、二〇

新三月十九日 金曜　舊二月七日 乙巳 友引 七滿 婁宿

諸判定總覽 東京市本鄕區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠館

▲一白 急激に事を行はざれば氣運は益々伸ぶる日▲二黑 運氣轉落の日自重を要す商取引は殊に注意▲三碧 喜憂別れ目の日慍はづみの行動は愼むべし▲四綠 勝に乘じて長追する事勿れ金談は調ひ難し▲五黃 地位の高下を論ぜず現狀に滿足するが吉▲六白 はらんの捲き起らんとする日靜かに內を守れ▲七赤 いうはくを抑け堅忍不拔の精神にて萬事に當れ▲八白 誠實に刄向ふ敵は無しだゆまず勵めば向上す▲九紫 多大の信賴を受け存分の手腕を揮ひ榮達す

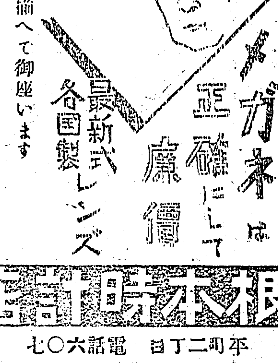
廣告

酒とマツイ おでんの榮ちゃん 平町田町花ノ里 電話三三番

六丁目 木村外科醫院 電話三〇九番

松村醫院 院長松村幾郎 平町南町電一〇七

安齋外科醫院 平町田町 電四七五番



眼鏡 メガネは正確にして廉價 最新式レンズ 各國製 豐富に取揃へて御座います（亂視用當館即時調製）

根本時計店 平町二丁目 電話六〇七

向上の若人は佑賢に學べ

生徒募集

◎中等科（二年制）▲目的―中堅公民養成
◎專修科（一年制）▲目的―各種受驗難關突破
◈本年度より
○女子部獨立
○商業、簿記科新設
○受驗相互研究會特設
○敎授陣の擴充
◇各科無試驗入學許可

磐城佑賢學舍 平町城山 電話九三